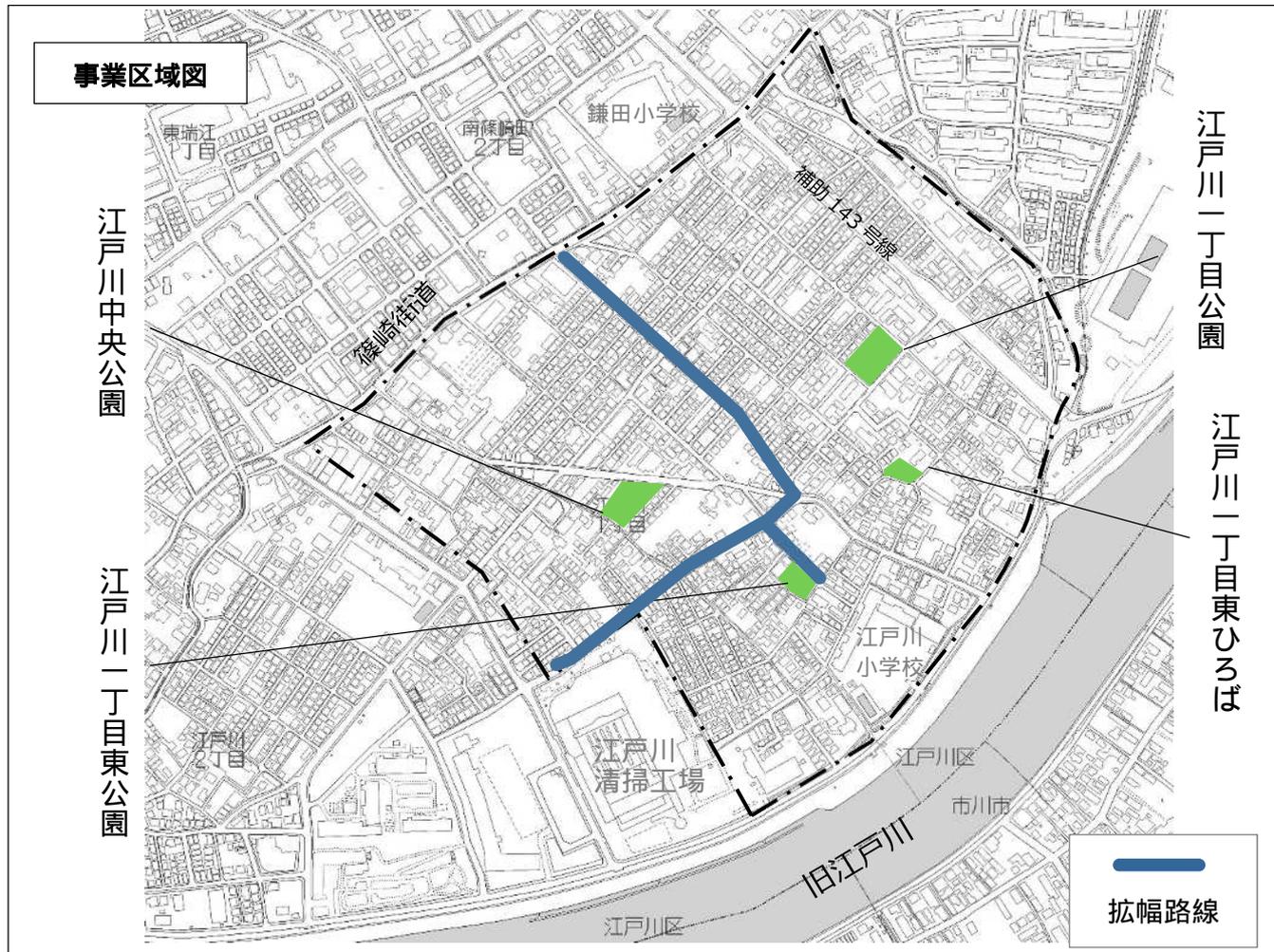


事業完了地区 5 江戸川一丁目地区 密集住宅市街地整備促進事業

本地区は昭和初期に耕地整理が行われ、概ね現在の街区が形成された。その後、主に昭和40年代に急速に一反歩単位でミニ開発が行われ、その結果接道条件が不十分で10～15坪程度の小規模な建築物群が密集するに至った。4m未満の細街路率が高く、建物更新が滞り老朽化が進み公園などの空地が不足しているなど住環境並びに防災面で課題を抱えていた。

このようなことから平成16年密集事業を開始、合わせて平成19年にはまちづくりのルールに継続性・実効性を持たせるため地区計画を決定した。

事業地区面積	34.7ha
事業期間	平成16～令和2年度
道路拡幅整備	拡幅前幅員2.7m 拡幅後幅員6.0m
公園整備	江戸川一丁目東公園 841㎡(防災水槽、かまどベンチ) 江戸川中央公園 1,911㎡ (防火水槽、貯留槽トイレ、防災井戸、かまどベンチ) 江戸川一丁目東ひろば 699㎡(非常用トイレ、防災井戸、かまどベンチ) 江戸川一丁目公園 990㎡(非常用トイレ、防災井戸、かまどベンチ)
その他	江戸川一丁目地区地区計画 平成19年12月都市計画決定



# 道路拡幅整備



## 公園整備

江戸川一丁目東公園  
(841㎡)



江戸川中央公園  
(1,911㎡)



江戸川一丁目東ひろば(699㎡)



江戸川一丁目公園(990㎡)

